

令和6年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和6年1月申請時点

1. 基本情報

大学名	帝京大学		設置区分	私立
学校種	大学		都道府県	東京
大学全体の総収容定員	22,873名	※令和5年5月1日時点		
学部学科組織構成	文学部（日本文化学科、史学科、社会学科、心理学科）、外国語学部（外国語学科、国際日本学科）、教育学部（教育文化学科、初等教育学科）、経済学部（経済学科、国際経済学科、地域経済学科、経営学科、観光経営学科）、法学部（法律学科、政治学科）、医学部（医学科）、薬学部（薬学科）、理工学部（機械・精密システム工学科、航空宇宙工学科、情報電子工学科、バイオサイエンス学科）、医療技術学部（視能矯正学科、看護学科、診療放射線学科、臨床検査学科、スポーツ医療学科、柔道整復学科）、福岡医療技術学部（理学療法学科、作業療法学科、看護学科、診療放射線学科、医療技術学科）			
事業計画名	帝京大学理工学部データサイエンス学科設置計画			

2. 事業概要

<p>帝京大学は、数理・統計学と情報工学の専門知識やスキルといった理論的な基礎の上に、データから価値のある情報を創造し、それを意思決定に活かす能力を備えた人材を育成することを目的とし、入学定員70名（収容定員280名）からなる理工学部データサイエンス学科を令和7年度に板橋キャンパスに開設予定である。</p> <p>デジタル社会形成基本法第25条の「デジタル社会の発展を担う専門的な知識及び技術を有する創造的な人材」の育成に資する本学科では、理工系の基盤である数学、物理学の知識と、データ解析の基盤となる数理・統計学、情報工学の知識を身に付けさせ、さらに計算機に推論や認識などの知的機能を実現するための人工知能の理論を身につけ、その技術を開発する人材の養成を目指す。</p> <p>特に、情報の収集及び分析を担う人材を育成するために経営データや医療データ等のビッグデータを分析・活用・保存するための理論を身につけ、データから価値を創造するプログラムを開発することができ、分析に当たっては問題を多面的に分析、統合し、課題を設定する力、プロジェクトを推進、管理するための基礎的な力を身につけて、さまざまな問題を意欲的に解決することができる人材の養成を目指す。</p>

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和7年度					
認可申請・届出の別	認可申請及び届出					
改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	理工学部データサイエンス学科					
設置等組織の学位分野	工学関係	-	-	-	-	-
当該学部等の所在地	東京都板橋区					
入学定員	70名（新設予定）					
収容定員	280名（新設予定）					
入学定員の増加数	70名					
他学部等の入学定員の減少数	50名					

事業計画名 理工学部データサイエンス学科新設に伴う施設新設および改修

基本情報

改組予定年度	令和7年度	設置等組織名	理工学部データサイエンス学科	入学定員増数(合計数)	70
所在地	東京都板橋区	改組内容	既存学部における学科の新設	入学定員減数(合計数)	50

<社会や地域のニーズ・課題>

- AI 戦略 2019(令和元年 6 月 11 日統合イノベーション戦略推進会議決定)では、「数理・データサイエンス・AI」を理解し活用できる人材が必要とされている
- デジタル社会形成基本法第25条では、日本のデジタル社会の発展を担う専門的な知識・技術を有する創造的な人材の育成が必要とされている

<設置学部等の概要・コンセプト・特徴など>

- 数理・統計学と情報工学の理論的基礎の上に、課題解決型学習法を活用し、データから価値のある情報を創造し、それを意思決定に活かす能力を備えたデータサイエンティストを育成する
- 総合大学の強みをいかして医療系学部、経済学部と連携した、医療データや経営データに関するデータサイエンスの教育研究を行う
- ビッグデータ解析に必要な人工知能の理論と、プログラミングを学ぶことができる

<教育内容・育成する人材像>

- 演習によるグループワークを通して、将来実社会で遭遇する様々な課題に対応するために必要となる知識・技能を有機的に活用し、的確に判断し、課題解決を実践する能力を育成する
- 理工系の基盤である数学、物理学の知識と、活用能力をはぐくむための数理・統計科目および情報工学科目を設定する
- 計算機に推論や認識などの知的機能を実現するための人工知能の理論を身につけ、その技術を開発する能力を身につけるための人工知能科目を設定する
- データを分析するための経営情報科目と医療情報科目を設置し、経営データや医療データ等を用いて実際にデータの解析を行うためのプログラミング科目を設定する

<連携を通じた教育体制の整備>

- 栃木県サービス情報産業協会(TISA)の会員企業でインターンシップを実施する。学生が学んできた専門知識や技術を実践する学修機会と捉え、地域における実課題に取り組むことにより、専門知識を深めるとともに社会課題の解決方法を学修する
- 「大学コンソーシアムとちぎ」と連携し相互単位互換授業を行う

<多様な入学者の確保>

- 一般選抜入試に加え、学校推薦型選抜入試、総合型選抜入試、大学入学共通テスト利用選抜入試と多様な選抜方式により、多様な入学者の確保に努める
- 一般選抜入試には、地域試験場(札幌、仙台、水戸、高崎、千葉、横浜、新潟、長野、静岡、名古屋、大阪)を設けることで多くの受験機会を提供する
- 留学生に対しては、日本留学試験成績を利用する留学生特別選抜入試や、海外現地で入試を行う海外現地留学生選抜入試を実施、社会人には社会人選抜入試を実施する

